

戦後60年、核のない平和な世界をめざして

「非核・平和」宣言

美しい自然、豊かな文化に恵まれた郷土と、平和な地球を守り、子孫に引き継ぐことは、今を生きる私たちに課せられた最大の責務であります。

しかしながら、現在も核・軍備の拡張は依然として続けられ、世界の平和と人類の生存に大きな脅威をもたらしています。

私たちの住む長崎県は、人類史上初の被爆体験をもつ被爆県であり、人類を破滅に導くあらゆる核兵器の廃絶と平和の尊さを全世界に訴え続け、再びこの悲劇を繰り返してはなりません。

私たち対馬市民は、平和憲法の本質にのっとり「非核三原則」を遵守し、全人類の自由と幸福、世界の恒久平和の実現をめざし、ここに「非核・平和都市 対馬」を宣言します。

以上は、平成16年4月30日に、対馬市議会で決議されたものです。

広島・長崎が人類最初の核兵器の犠牲となって今年で60年になります。この非人道的な兵器は、21世紀の今日もなお世界に3万発も保有されています。被爆者は高齢となり、被爆体験の風化も急激に進みつつあります。

原子爆弾の惨禍を身をもって体験した広島・長崎両市民は、今日までこの悲劇を再び繰り返すことのないよう、核兵器の廃絶と世界恒久平和の実現を全世界に訴え続けてきましたが、訴えに反して核兵器を取り巻く状況は一層予断を許さない事態に陥っています。

被爆県の一員として、果たすべき責務はますます大きくなり、私たちは様々な機会をとらえ、原爆の残忍性や平和の大切さを、次世代に語り継いでいかなければなりません。

対馬市

市長の動き

《7月》

- 1日 対馬市議会定例会、辞令交付式、対馬釜山国際航路利用促進事業記念セレモニー
- 4日 対馬市議会定例会
- 5日 県下戸籍住民基本台帳事務協議会



- 9日 対馬地区漁協青壮年部連絡協議会総会
- 11日 九州地区漁港大会 (唐津)
- 13日 県戦没者慰霊奉賛会評議員会 (長崎)
- 18日 海の日イベント
- 19日 叙勲伝達、四季の会
- 20日 湯多里ランドつしま温水プールオープン行事、対馬栽培漁業振興公社理事会

- 21日 県離島振興協議会理事会、県離島航空路線協議会 (長崎)
- 25日 対馬物産開発取締役会
- 25日 県土木部各種役員会・総会 (雲仙)
- 28日 県離島医療対策協議会要望活動 (東京)
- 29日 スカイネットアジア航空長崎便就航記念式典 (長崎)
- 30日 「対馬医師会史」発刊記念式典

市長の資産公開について

対馬市では、「政治倫理の確立のための対馬市長の資産等の公開に関する条例」に基づき、市長の資産等を公開しています。

閲覧を希望される方は、市役所4階・秘書課までお越しください。

対馬市明るい選挙推進協議会がスタート

7月7日、峰地区公民館で、明るい選挙推進の先導役になる「対馬市明るい選挙推進協議会」の設立総会が開催されました。

この協議会は、合併前の各町に設置されていましたが、対馬市の誕生でいったん解散してしました。総会は協議会規程の説明や役員の選出が行われ、委員の互選により、会長に小川巖さん（厳原）副会長に阿比留芳朗さん（上対馬）が選ばれました。

その後、17年度の事業計画と収支予算について審議され、対馬市の明るい選挙推進の活動がスタートしました。

（今年度の活動内容）

地区集会や各種団体の会合時に「10分間座談会」（仮称）開催の呼びかけ

「話し合い運動」の推進

選挙啓発ポスター作品応募

の呼びかけ

明るい選挙啓発に向けた広報誌等の活用「選挙Q&A」

（仮称）の掲載

委員名簿（順不同 敬称略）

【会長】小川巖（厳原町宮谷）

【副会長】阿比留芳朗（上対馬町比田勝） 【委員】 小嶋義昭（厳原町田淵） 平尾育恵（厳原町今屋敷） 堀江登（美津島町久須保） 石橋保千代（美津島町難知） 長岡みゆき（豊玉町仁位） 阿比留洋五（豊玉町廻） 小川一成（峰町三根） 中村恵子（峰町佐賀） 阿比留清弘（上原町佐護北里） 市山恵美子（上原町女連） 庄司智博（上対馬町比田勝） 吉村正孝（美津島町難知・老人団体代表） 早田竜介（美津島町難知・青年団体代表）



韓国からのお客様に便利に

7月1日、釜山へ対馬間の国際航路と島内の交通を連結した「観光シャトルバス」の運行が始まり、比田勝港国際ターミナル前で記念セレモニーが行われました。

これは、今年度から県と市が取り組んでいる「対馬釜山国際航路利用促進事業」の一環で、シーフラワーを利用して対馬を訪れた人たちが、市内での移動を安価で利用できるようにしたものです。

今までは釜山から対馬までの乗船券代と比田勝から厳原までのバス代が必要でしたが「観光シャトルバス」を利用すると3000円程度格安になり、個人観光客増加策として、県と市が協力して実施するものです。



観光シャトルバスの前でテープカット

食からの健康づくり

6月21日、上対馬総合センターで、平成17年度対馬市食生活改善推進協議会（会員150名・小嶋多鶴子会長）総会と食生活改善推進員研修会が行われました。

食生活改善推進員（ヘルスマイト）は、食を通じて健康づくり活動を推進している方々で、広報つしまのヘルスマイトコーナーでもおなじみの皆さんです。

総会では、16年度の事業報告や決算、17年度の事業計画、予算と規約改正が協議されま

した。

その後の研修会では、厳原支部が阿連小学校での親子料理教室などの活動を、豊玉支部が「せんちまき」や「せんつけ」など郷土食（おやつ）の取り組みなどの活動報告を行いました。

また、中対馬病院副院長村瀬邦彦先生による「介護と救急医療の現状」の講演が行われたほか、会場には各支部の活動内容が展示され、健康づくりの取り組みが分かりやすく説明されていました。



総合学習で鶏鳴小6年生が 雞知川調査隊に！

7月1日、鶏鳴小6年生52名が、雞知川について学習しました。

これは6年生が総合学習の時間で取り組んでいる「まちづくり」についてのきっかけ作りとして、雞知川の現状について学び、きれいな川を守るために何ができるのかを考えることで、学習に活かそうと行われたものです。

当日は雞知川で現地学習を行う予定でしたが、悪天候のため室内での学習になりました。対馬地方局河川防災課の職員や市役所の職員などが講師になり、川のあらまじや水の汚れなどについて説明が行われました。

説明を受けた子ども達からは、「一級河川と二級河川の違いは?」、「護岸に穴が開いているのはなぜ?」、「なぜ川に草が残っているのか?」、「雞知川の汚れは対馬市で何番目?」、「川にはどんな生き物がいますか?」など次々と質問があり、講師も回答に困る場面もありました。



熱心に説明を聞く6年生

将来は海上保安官! 中学生の職場体験学習

7月12日～14日に、比田勝中学校2年の大石祐樹君と大田啓貴君の2人が、比田勝海上保安署で職場体験学習しました。

制服に身を包んだ2名は、保安官の仕事についての説明を受けた後、実際に鑑識業務や航路標識の点検、ロープワークなどを体験しました。また、巡視艇「はやぐも」では操船、双眼鏡を片手に見張りなどを体験しました。

職場体験を終えた2人は、「少し船酔いしたけど、よい経験になりました。仕事は色々あることをはじめて知りました」と話していました。

「はやぐも」の荒巻正晴船長は「元気があって飲み込みが早いので、将来は海上保安官に」と期待していました。



真剣に操船に取り組みました

南陽交通少年団がカーブミラーの 清掃ボランティア

7月17日、南陽交通少年団が、上

対馬町琴ヶ舟志間のカーブミラー24個の清掃ボランティアを行いました。

南陽交通少年団は、南陽小学校3年生以上の入団希望者23名で構成されていて、この日



は、5、6年生14名でミラーの汚れを落としました。

日当たりが悪い場所にあるミラーは、苔の汚れがひどく掃除も大変でしたが、子どもたちは丁寧に磨き上げていました。また、沿道には空カンのポイ捨てが多く、ゴミ拾いも行いました。

市民の皆さんも交通安全を心掛け、ごみの投げ捨て防止にご協力ください。

